

札幌社保協 FAXニュース

2013年 9月6日(金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番
は9月26日(木)

医療の必要な人には資格証明書を解除 西区社保協一区国保課と懇談

西区国保課では病院を受診したいという資格証明書世帯に一定額の保険料を払わないと保険証を出さない、資格証明書発行が他区に比べ非常に多いことについて、9/5に西区社保協が国保課と懇談しました。社保協から横山会長など10人、国保課は課長など3人が出席。

勤医協西区病院の相談員から、この間窓口では滞納保険料を払わないと短期保険証を出してもらえない事例を紹介し改善を要請。国保課長は「医療を受ける緊急の対応が必要な場合は、保険料の納付計画とは別にして資格証明書を解除する」と明言。「窓口の個々の職員の判断



にしていない、医療が必要で病院へ行きたいという場合は短期保険証を出す。検査という場合は出せない」と回答。滞納世帯への負担限度額認定証発行については「滞納計画で2年程度で払えるものであれば発行」と回答。

納付書の額以外の支払いを受け取らないことについて「決まった額を勝手に公務員が変更することはできない」と述べましたが、「保険料を下げられる事由がある場合には下げることもある」と相談で決めると回答。

2012年12/1資格証明書交付が西区は滞納世帯の30%と他区に比べて異常に多い点について「滞納世帯がだんだん減って長期の資格証世帯が残ってきているため、長期滞納世帯に接触する努力をしている」と回答。

西区社保協では医療の必要な世帯に資格証を解除すると国保課長が明言したことを確認し、関係団体にも周知することにしています。

各地で保護費引き下げへの審査請求～1000人を超える参加

8/1～の生活保護費引き下げに抗議して各地で宣伝や不服審査請求の取り組みが行われています。道全体では審査請求参加が1000人を突破しています(9/5まで)。

白石区社保協では8/29の保護費支給日に白石区役所前で宣伝を行い(写真右)、8人が参加してピラ200枚を配り、引き下げ中止の訴えと審査請求への参加を呼びかけました。

8/28勤医協老健柏ヶ丘で「生活保護学習会」が開かれ、職員・友の会34人が参加。今白石社保協事務局長が8月からの生活保護基準引き下げの内容と問題点を話し、白石区生活と健康を守る会の藤原副会長が、保護課の窓口対応や行政の問題点を話しました。



年金引き下げ反対と審査請求運動を 年金者組合札幌支部協

年金者組合札幌支部協の総会が9/5に開催され役員など25人が参加しました。10月から引き下げられる年金の不服審査請求運動の取り組みや、札幌市への要請活動、高齢者大会の取り組みなどを議論しました。

総会では、西区の病院・介護施設の恵和会労組の代表が経営者のパワハラにたたかう裁判闘争へ支援の訴えがされました(写真)。



審査請求提出集会

9月17日(火)
13:30～15:30

札幌エルプラザ
3階ホール
(北区北8条西5丁目)

- ◆審査請求人の訴え
- ◆連帯のあいさつ
- ◆請求書提出
- ◆行動提起